

# 第14回 夏休み子ども 一日病院探検



車イス体験



无影灯を付けた手術台で患者体験



CT模擬体験



トロミ剤を入れたジュースの試飲

# 厚生協会だより

2013年9月21日  
第 321 号

発行  
公益財団法人  
宮城厚生協会

〒985-0835  
宮城県多賀城市下馬  
二丁目13番7号  
TEL 022-361-1113  
FAX 022-361-1124  
発行人：長澤 清光

## 思いやりある温かい心養い、 医療の仕事に関心持つこと目的に

泉病院組織課 菅原 秀俊

「とてもたのしかった」

「車イスの電動が、そうぞう以上に速くてびっくりしました。CTのレーザーがまぶしかったです。しゅじゅつしつのベッドがきもちよかったです。ほうしゃせんのカメラは文字がみえないことを知った。初めてだったけど、とてもたのしかったです。」という感想が。

「お医者さんになりたい」

手術室では、1人が手術衣を着て、全員が手洗い、无影灯を付けた手術台に乗りました。女の子2人が「お医者さんになりたい」と大関麻里妹外来師長に言っていました。

「第14回夏休み子ども一日病院探検（泉病院友の会保健活動委員会主催）」が7月25日、泉病院で行われ、小学4～6年生8人と母親2人が参加。リハビリ室でキャップハンディ体験、レントゲン室でCT模擬体験、手術室で患者体験をしました。

リハビリ室で①段差を付けて乗ったり押したりの車イス体験、②片手で服を着る体験、

病院探検は近隣の小学校3校の4～6年生700人に案内、新聞に掲載、10人定員で募集。思いやりある温かい心を養い、医療の仕事に関心を持つことを目的に行っています。

ヒロシマ・ナガサキ 『原爆展inしおがま』開催

# 原爆被害の実相を知り、核兵器廃絶の輪を広げよう！

むつみ会担当 保健師 鈴木 悦代

原爆投下から68年目の今年も、7月27日(土)〜8月3日(土)に「イオンタウン塩釜1F 塩釜行政サービス・マリンプラザ」を会場に開催されました(29日は休館)。

爆の絵、子どもたちの平和ボスター、宮城の被爆者に関するパネル等、定番となった80点余。被爆者の証言ビデオ、アニメ「つるにのって」の上

塩釜地区被爆者の会(むつみ会)と原爆展準備委員会共催で、坂病院友の会平和活動専門部や新婦人、原水協、つばさ薬局、あゆみ保育園など多くのの方々の協力で取り組みました。

6日間で8500名

以上の方が来場！

展示内容は、新「原爆と人間」(日本原水爆被害者団体協議会作成)、市民が描いた原



パネルを見ながら親子で語り合う姿も

映と二人の被爆者が被爆体験を語りました。「子どももわかる年齢になったと思ひ、連れてきました」という親子もいて、戦争を知らない世代、偶然原爆展を知った人も多く、一日100名近く、多い日で150名を超え、来場者総数は8500名を超えました。

●二度と起こってほしくない  
目をおおってしまいたい気持ちはありますが、本当にあったこと…。こんな事は二度と起こってほしくない、心から願います。(40代女性)

●風化させてはいけない  
今回は偶然ですが、被爆体験のお話まで聞かせていただきました。本やテレビなどで見たりするよりも内容が深く、シヨックな所もたくさんありました。どうぞ風化させず、がんばって活動してください。(40代女性)

等など、たくさんの感想が寄せられました。



被爆者体験を聴く「被爆者健康手帳」の説明中

## 被爆者の経験に学び、次世代に継承していく

被爆者の高齢化が一段と進み、直接語り伝えることは年々難しくなる中、今回、長年「むつみ会」を担当された神久和先生が、被爆者の現状や原爆症認定基準改定後も続く認定審査の問題、被爆者に増え続ける癌と健診拡充の課題等についてお話されました。

被爆者の経験に学び、次の世代が継承していくことの意義が示されたことが、今回特筆すべきことでした。

## 坂総合病院で「原爆展」初開催

ヒロシマ・ナガサキを、知ることは、未来を考えること

8月6日(火)から8月9日(金)まで、病院2階セミナー室前ロビーで、被団協作成「新・原爆と人間展(パネル30枚展示)」が開催されました。

被爆の実相と反核平和運動継承のための草の根活動として、「塩釜地区原爆展」が毎年開催されています。医療的側面の支援とともに運動面の拡大をめざし、院内反核平和委員会とむつみ会の共催で、今回初めて取り組まれました。

## アンケート感想から

■この取り組みをこれからも続けて  
福島に起きてしまった現実！ 今日8月6日(広島)、9日(長崎)と日本人にとっ

■日本は原爆廃止の先頭に立って

・すさまじい爆弾です。核爆弾は地球を滅ぼします。核廃絶はあたり前です。まず教育（小学〜大学）が不十分だと思えます（弱くなっている）。核の平和利用はもっと厳格に安全に、利用はしようがない

て忘れることができない現実が、となりの福島で今まだ解決していない。海への垂れ流しは今も続いているのでしょね。この取り組みをこれからも続けていって下さい！

(職員60代女性)



熱心にパネルを見る (セミナー室前ロビー)

か？ アメリカの2発目（長崎）の原爆投下は非常に不愉快。原爆廃止の先頭に立って行くのは日本でしょう。核は人間が作った。それを重大（しつかり）にコントロールしなければならぬ責任がある。

(患者50代男性)

## 短時間通所リハビリ開始!!

泉病院通所リハビリテーション 理学療法士 野川ちひろ

今夏7月1日より、1時間15分の短時間コースの通所リハビリを開始しました。軽自動車での送迎で1日3人までと小規模ですが、開始前から多数のお問い合わせをいただき、8月には午後も拡大して行っております。

### 注目される短時間通所

#### リハビリ

長時間の通所リハビリとは部屋を別にし、入院患者さまのリハビリスペースにて、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の個別リハビリ時間を多くとって行っています。脳神経がメインの当院では脳疾患患者さまが多く、麻痺や言語障害など障害を残したまま在



送迎中です

宅で生活しており、継続的なリハビリテーションが必要な方が多くいらっしゃいます。全国的にも増えてきていますが、長時間拘束されずにリハビリに重点を置いたサービスとして短時間通所リハビリは注目されてきているところで

### 開設検討から開始までの経過

以前より診療報酬改定のためにリハビリテーション算定期間の引き締めが強くなっており、2012年報酬改定時に、次回改定2014年には外来通院での長期にわたるリハビリテーションは継続できないということが決まっています。当院でも、リハビ



リハビリの様子

リ継続の必要性があり外来通院リハビリを行っている患者さまがいらっしゃいます。長期のリハビリが必要な患者さまの今後を考え、2013年度中に短時間の通所リハビリを開設しようと検討を重ね7月開始する運びとなりました。

### 求められているリハビリ つなげていきたい

現在でも問い合わせを多くいただき、短時間通所リハビリの必要性を強く感じております。小規模のため目立った宣伝は行っておりませんが、今後大きな展開は難しい状況です。その中でも、今、患者さま・利用者さまから、求められているリハビリテーションサービスをつなげていけるように、今後の展開を検討していきたいと考えています。

「第35回坂総合病院健康まつり」開催

テーマ

「手をつなぎ、  
ささえあい、  
地域と共に、  
健やかに」

9月1日(日)、快晴の下、震災後3年ぶりに塩釜カス体育館を会場に約2000人が参加し開催されました。

早朝、まずはテント設置から準備スタート。9時受付開始。送迎車等での来場者を受けや案内係が笑顔で迎えました。今年も塩釜高校ボランティアグループ「インターアクト」の皆さんにご協力いただきました。

催しは4会場(第1競技場、第2競技場、2階踊り場、外の模擬店)に分かれて行われました。

第1競技場では

○中央ステージは9時50分、オープニングは「翔舞連(七ヶ浜)」の躍動感あふれる踊り。



オープニングを飾る「翔舞連」の踊り

齊藤規夫友の会会長が開会宣言し挨拶。来賓の方々の挨拶や紹介後、ステージは、ヒップホップダンス(塩釜高校)、フラダンス(生協塩釜栄町店)、アカペラ(福祉大)、

星陵アンサンブル(東北大)、友の会の太極拳、童謡をうたう会、民謡と続きました。

12時30分、今田隆一院長があいさつ。その後、踊りサークルを中心に参加者も加わり「友の会音頭」を元氣よく踊り、最後は勇壮な「汐見太鼓(七ヶ浜)」。

そして、お楽しみ大抽選会。番号発表のたびに悲喜こもごものため息や笑顔が見られました。

○サークル展示・体験会、フリマ、原爆展・署名など、展示コーナーのすばらしい作品に多くの方が集まりました。絵手紙・書道の体験コーナー



サークル展示の体験コーナー

では、親子で一緒の筆を持ち描く姿も。また、フリーマーケットも売れ行き好調。原爆展パネルに見入る人、署名コーナーでも会話が弾んでいました。

第1競技場入口前の、手洗いチェックコーナーでは『手洗いが大事なことが改めてわかってよかった。』との声もありました。

第2競技場では

○健康コーナーは6ヶ所(血圧・体脂肪測定、骨密度測定、血管年齢測定、味噌汁塩分チェック、簡易血糖測定、一次救命処置)を回ると景品



味噌汁塩分チェックコーナー

がもらえるスタンプラリーを実施。行列ができ景品が足りなくなるくらいの大盛況でした。

○ちびっこ広場は多賀レンジャーの突然の登場に驚くちびっこたち。多賀レンジャーとのジャンケン大会では何度も挑戦する子や一緒に記念写真を撮る家族も。

○トークカフェコーナーは展示された写真を指差ししながら、当時の状況を懐かしみ、じっくりと話し交流しました。今田院長も途中から加わり、思い出話に花を咲かせていました。



トークカフェコーナー  
今田院長(右から2人目)も加わり話が弾む



ステージ最後は勇壮な「汐見太鼓」



模擬店 ジャンボリーとん汁おいしいよ！

## 2階踊り場では

癒しのハンドマッサージコーナーや子育て相談、ネイル体験コーナーも盛況。マッサージを受けた方は「気持ちよ

かったー」と一言。

## 模擬店では

19店舗のあちこちからいい香り。こちらも人人人で完売続出。特に、餃子、じゃがバ

ター、まぐろ唐揚げなどに人氣があったようです。

来場者の多くの方から、「来年も楽しみにしています。」という感想がありました。

## ◇うまいもの自慢◇

# 地元食堂の発見と楽しみ

坂総合クリニック診療サービス課 湯本 朋巳

## どのくらい診療圏の地域を知っている？

「地域医療」「地域に出る」…民医連でなくともよく使う言葉ですが、我々職員はどのくらい診療圏の地域を知っているでしょうか？

日常の生活では、巨大大手スーパーで買い物、外食も全国チェーン店がファーストフード、飲むのはまたしても大手居酒屋チェーン…確かにそこそこの給料でのやりくりなので、そのような消費生活を完全否定はしません。しかし、地域に出てみると、

同じ値段、それ以下の値段で、震災被害にもめげず一生懸命に営業している地元の商店、食堂も数多く存在します。

## 月2回は同僚後輩と食べに

坂総合病院の地元である多賀城市にある食堂「D郷（生協多賀城店近く）」、「食堂（SONYの工場近く）」が私のお気に入り、同僚後輩と月2回は食へに行っています。

インターネットのグループや「タベログ」で「食堂D郷」と検索すれば、巨大で厚切りのポークステーキ、てんこ盛りキャベツ、大量の自家製ポ

テトサラダ、貝沢山の味噌汁を画像で見ることが出来ます。また、「食堂」のかつ丼、カレーは懐かしい昭和の味です。

## 地元にもんなうまい

### そばがあったとは…

数ヶ月前、県内の中華そば系ラーメンの名店に精通している職員の某氏と、上記のD食堂に同行。彼は「中華そば（480円）」を注文し食べ終えた後：『今まで各地のラーメン屋を食べ歩いたが、この中華そばの味は上位5番以内に入る！ 地元にもんなうまいそばがあったとは…』との感想…その後、地元志向に切り替えた某氏の最近のおすめの店は、塩釜市内の老舗「そば屋S」の「中華そばセット（780円）」。地元出身の友人に聞いたところ、かなり美味との評価でした。

## オヤジ職員の義務？

個人的には、高い評判の定食をだしている多賀城市内の「居酒屋M」「老舗食堂M」などの利用もしていないので、近日常にいつも腹ペコな後輩たちと行きたいですね（地元

の美味しい食堂を後輩に教えるのは、オヤジ職員の義務？かも）。

職員のみならずには、地元「地域」の食堂、商店を利用する中で、新たな発見と感動をしてほしいです。



中華そば480円



ポークランチ800円

全国区並みのその堂々たる姿、ご照覧あれ!!



# 「つゆ」さんと 「しょうゆ」さん



坂総合病院 7階病棟看護師 **遠藤 麻由**



さて、暑い日々が続いていますが皆さんいかがお過ごしでしょうか。馴れ馴れしい始まり方で申し訳ありません。遠藤と申します。よろしくお願ひします。

## 名前は調味料から

早速ですが、私の飼っているペットを紹介したいと思います。寄稿させていただくくらいですから、普通の一般的なペットではありません。さて、何だと思いませんか?…勿体ぶる字数ありませんので、答えはヘビです。ヘビ年絡みの冗談ではありません。ヘビが本気で嫌いな方、申し訳ございません。

私が飼っているヘビは2匹。グレーバンドキングスネークの「つゆ」と、コーンスネークラベンダーの「しょうゆ」さんです。お気づきの通り、名前は調味料から。ちなみにどちらも体長1m前後です。

## とても飼いやすい動物

ヘビはとても飼いやすい動物です。アダルト(成長しきっていること)になればエサは1週間に1回、水は2~3日に1回取り替え、糞をしたら片づけ、冬場はペットヒーターを使うくらい。特に散歩や、日光や、エサの栄養バランスに気を使うこともありません。3泊4日くらいの旅行なら平気で置いていけます。まあエサが冷凍マウスなので、それに抵抗ある方もいらっしゃるでしょうが、慣れてしまえばどうってことはありません。

品種によって顔や模様や色が違って、コレクションのように飼育する人も少なくありません。世話が簡単ですから、たくさん飼ってもそれほど苦労しませんし。



## たまぁには噛まれますが



ヘビが慣れてくれれば、ハンドリング(触ること)も出来ます。ひんやり、さらっとした触り心地なので、夏場のこの時期はとても癒されます。ヘビ=毒があると思われがちですが、ウチの子達は無毒です。たまぁにエサと間違われて噛まれますが、噛まれても蚊に刺されるよりダメージは少ないんですよ。

## 癒されつつ夏を乗り切る

皆さん、少しヘビに対するイメージは変わったでしょうか。別に良いイメージを持ってくださいとは言いませんが、そうだったんだと思っていただくことが1つでもあれば幸いです。今日も2匹に癒されつつ、この夏を乗り切ろうと忍耐中です。ありがとうございました。